



「ロータリー学友会への入会促進」

国際ロータリー第2660地区 地区学友委員会
2024-25年度 委員長 樋口 晃

CONTENTS

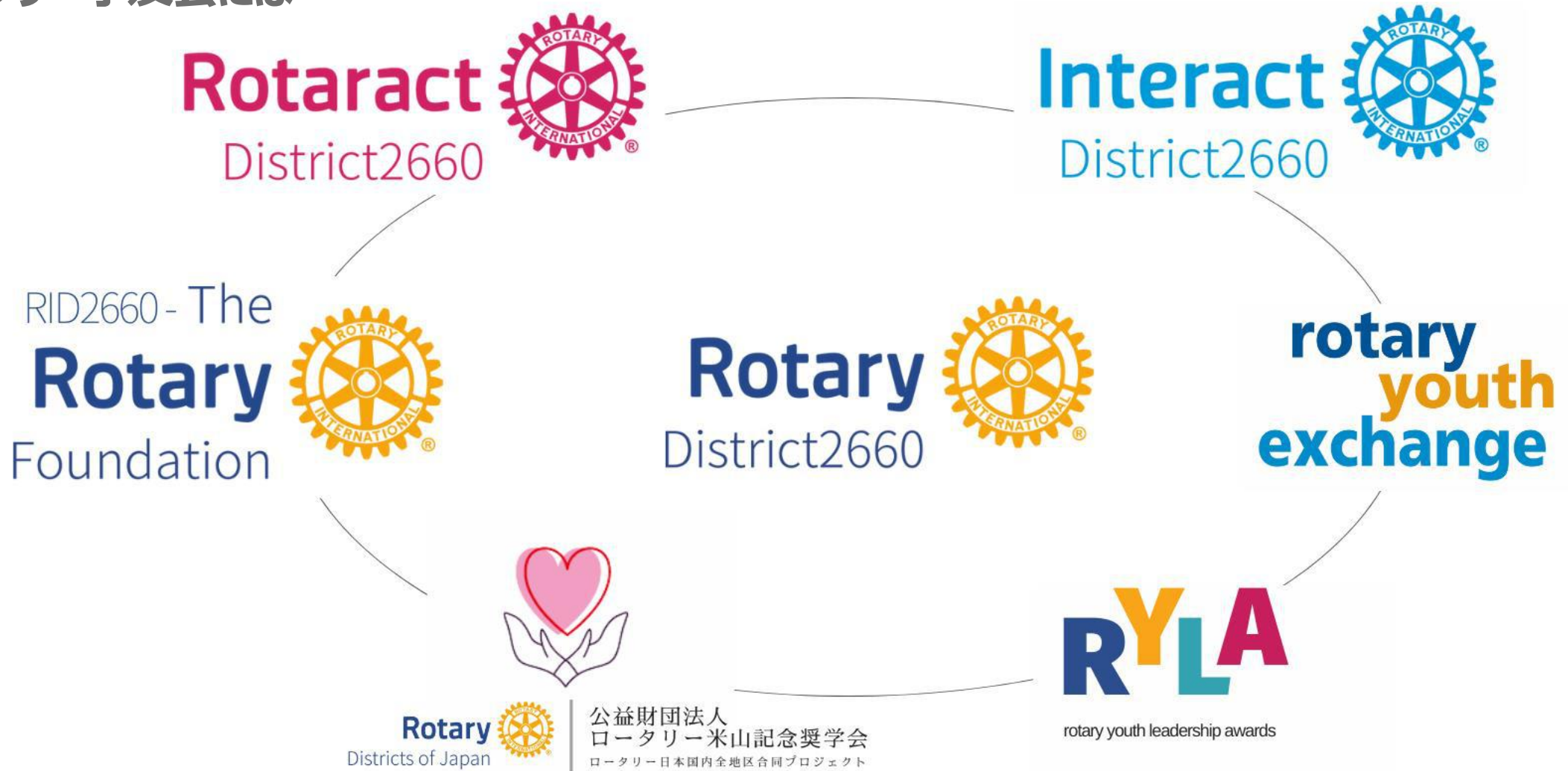
- ① ローターリー学友会とは/入会のメリット
- ② 次年度の方針
- ③ 各クラブへのお願い(10月の学友推進週間)

Chapter1①

そもそもロータリー学友会とは



ロータリー学友会には



大きく7分類 全11のプログラム経験者で構成

質問に

1つでも該当するものは
ありましたか？



学友会と関係「有」

Chapter 1②

学友会のメリット



ロータリー学友会
のメリット

- 1 【for学友】 連絡が来る
- 2 【for学友】 ロータリーに触れやすくなる
- 3 【for学友】 プログラム横断的なつながり
- 4 【forクラブ】 学友の育った姿こそが実績の証
- 5 【forクラブ】 クラブの活性化(卓話・会員増強の種)



卒業してロータリーと
関わる事がなくなったね(^o^;)

2.33 PM // Sakaguchi (RAC OB)

お世話になった
ロータリアン元気かな？

Miyahara(RAC OG) // 2.34 PM



久々に一緒に活動してた
メンバーとも話した

2.35 PM // Sakaguchi (RAC OB)

学友メーリスにて案内

学友が興味のあるものに参加

大阪のロータリー100周年記念講演とパネルディスカッション

第1部 宮田教授講演
Better Co-Being 実践の未来を共に描いて

第2部 宮田教授とRYLAのメンバーによるパネルディスカッション
「Better Co-Being」実践の未来を共に描いて

参加料 無料

◆日程 2022年12月17日(土) 16:00~17:30

◆会場 グランキューブ大阪
A棟10階研修室 5F 607A
〒530-0005 大阪市北区中津6-3-51
Tel.06(689)5555

◆申込方法 下記WEBサイトにアクセスいただき、必要事項を入力してお申し込みください。
大阪のロータリー100周年記念講演 録画

◆ご質問/お問い合わせ先 info100@ri2660.jp

主催 Rotary 第2660地区

- 地区大会 基調講演
- 職業奉仕セミナー
- 春の総会
- ロータリーデー
- 周年行事 etc.

Gmail メールを検索

5 / 41

ZOOMウェビナー情報【1/18オンライン職業奉仕セミナー】

← D2660矢野優子 <yano@ri2660.gr.jp>
To 自分

2023/01/13 16:11

ロータリー学友会
幹事 甲斐 昌様

いつもお世話になりありがとうございます。
ガバナー事務所 矢野でございます。
甲斐様へお願いがございます。

国立循環器病研究センター データサイエンス部長
[REDACTED] 様

RYLA OB [REDACTED] 様

以上2名の方にごこちらのメールをご転送いただきたく存じます。
ご多用のところ大変恐れ入りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

矢野

=====以下、ご転送願います=====

国際ロータリー第2660地区
ロータリー学友会 各位

いつもお世話になりありがとうございます。
ガバナー事務所 矢野でございます。

学友の声

「会社での立場が
変わって、今こそ
ロータリアンの
卓話が聞きたい」

「子どもが出来て、家
族参加できる行事だけ
でも参加したい」
「将来子どもにも青少
年プログラムなんて
どうだろう？」



ROTARYに 触れる機会の増加

ロータリーに触れる機会を
スポンサークラブ、
世話クラブの皆さん、
カウンセラーの方のみ、だけでなく
増やすことができます

学友がロータリーに対するポジティブな
印象を再認識する機会



Chapter 2

次年度の活動方針

主な活動計画



1. ポリオデーイベント

2023年10月



×

Alumni
Rotary
District 2660

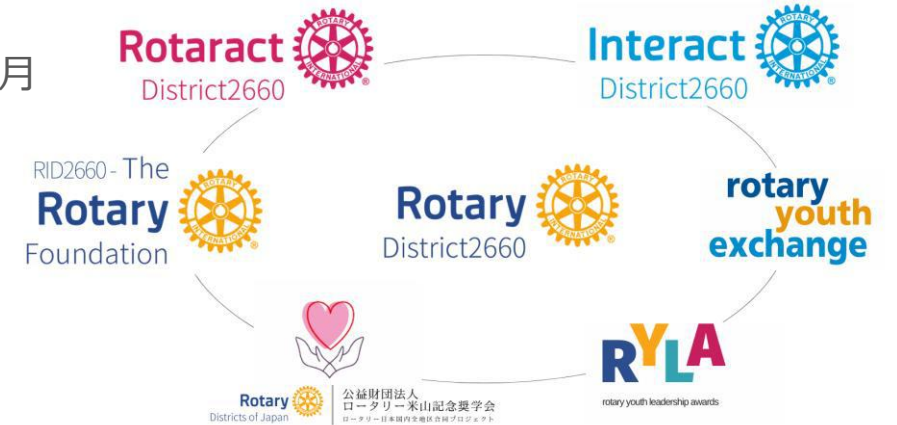


Rotaract
District2660



2. 地区大会

2024年4月



大きく7分類 全11のプログラム経験者で構成

学友会入会を仕組み化




ICEBERG

学友会入会を
仕組み化

鍵

見えない所

過去多数
輩出した学友

An illustration of an iceberg floating in a blue sea. The tip of the iceberg is above the water line, while the much larger base is submerged. A white bracket on the right side of the submerged part indicates its size. A thin black line with a red dot at the end points from the text '学友会入会を仕組み化' to the peak of the iceberg.

学友会入会を
仕組み化

各クラブのご協力



過去多数
輩出した学友

鍵

見えない所

Chapter3

各クラブへのお願い



RECONNECT WEEK 2022

Rotary



ロータリー学友 参加推進週間

Rotary Alumni Reconnect Week

RECONNECT WEEK 2023



R I 理事会は、**10**月**7**日を含む**1週間**をロータリー学友参加推進週間として、ロータリー学友をクラブの例会や奉仕プロジェクトに招待し参加してもらうことを奨励しています。

10月は「米山月間」 兼「学友参加推進週間」がある

卓話講師として招待 01

例会(家族会)に学友を招く 02

例会時間の検討(夜) 03

学友会に登録 04

A woman in a black headwrap with red accents is smiling broadly, looking towards another woman in a red garment. The scene is set in a room with other people in the background.

TOGETHER, WE

CONNECT



学友と再び再会する機会を

各クラブ10名ずつ学友会入会されれば一気に800名程の人が学友の5つのメリットを享受できる
→クラブの活性化にも繋がる

革新的クラブの設立の種

Chapter4

最後に

クラブへ
持ち帰る

会長幹事部門
青少年奉仕部門
それぞれで説明
擦り合わせて
クラブとして対応
していただきたい

学友は
原石

それぞれのクラブの
・クラブの会員増強
・クラブの活性化
・新たな可能性
・実績の証
(学友の成長した姿こそ)

具体的な
アクション

次年度具体的な
アクションが
起きれば
今後継続して
効果を発揮します

本日のまとめ CONTENTS

- ① **ロータリー学友会とは / 入会のメリット**
 - 唯一のプログラム横断組織
 - 学友の"今"に合った**機会が提供**される
- ② **次年度の方針**
 - ポリオデー(10月)と地区大会
 - 入会の仕組み化 但し、**過去には届かない**
- ③ **各クラブへのお願い(10月の学友推進週間)**
 - 月間・週間を活用してください
 - 学友会に**登録**してもらおう(**無料**)